

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	小児医療センター小児科:小児病院に匹敵する大学内総合小児医療センター
別タイトル	Department of Pediatrics, Pediatrics Medical Center Omori Hospital: Integrated pediatric medical center in Toho University Hospital
作成者(著者)	佐地, 勉
公開者	東邦大学医学会
発行日	2012.05
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 59(3). p.152-153.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	教室紹介
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.59.152
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD00598348

教室(診療科)紹介 (80)

小児病院に匹敵する
大学内総合小児医療センター

小児医療センター小児科

教授：佐地 勉
教授：小原 明
准教授：松裏裕行
准教授：佐藤真理
講師：中山智孝

小児科教室紹介

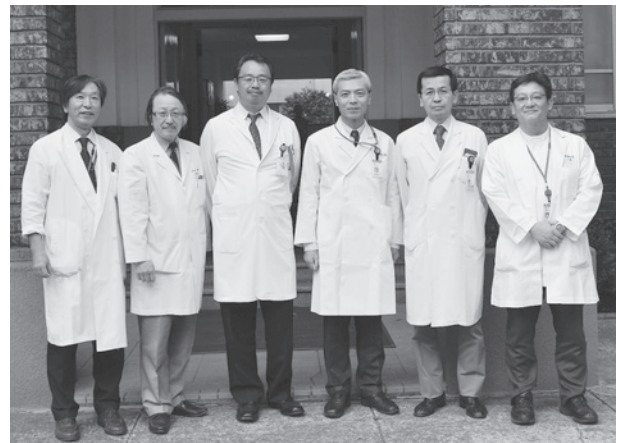
教室員は表1の他、シニアレジデント3名、レジデント2名、非常勤・客員講師8名、大学院生4名、レジデント以外は全員小児科専門医、各領域の専門医の資格を持っている。

診療内容・特色

小児の総合診療科として、こどもの身体的、精神的、社会的な健康を守るため、「東邦大学小児医療センター」の中核的位置にあり、小児の総合診療科として社会に貢献する



当センターが主催した第114回日本小児科学会学術集会(2011年8月)での集合写真



東邦大学小児医療センター関連スタッフ
左より 與田教授(新生児科),佐地(小児科・小児循環器科), 宍戸教授(小児腎センター),小原教授(小児科・輸血部兼任), 黒岩教授(小児外科),小澤准教授(小児心臓血管外科)

表1 小児科外来診療スタッフ

佐地 勉	教授	循環器, 肺高血圧, 川崎病, 先天性心疾患, 心筋疾患	麻生敬子	助教	内分泌, 低身長
小原 明	教授	血液・腫瘍, 輸血, 造血幹細胞移植	館野昭彦	教授(佐倉)	神経, てんかん, 発達障害
松裏裕行	准教授	循環器, 小児救急医学, カテーテル治療	本山 治	准教授(佐倉)	腎臓, 腎移植, ネフローゼ, 腎炎
佐藤真理	准教授	内分泌, 低身長	波多野道弘	客員講師	アレルギー
中山智孝	講師	循環器, 肺高血圧	岡本則彦	客員講師	アレルギー
渡辺美砂	助教	アレルギー, 喘息, アトピー性皮膚炎	柳川 進	客員講師	アレルギー
長谷川 慶	助教	腎臓, ネフローゼ, 腎炎, 腎移植	小笠原敦子	客員講師	糖尿病
小嶋靖子	助教	血液・腫瘍	田村恵子	客員講師	呼吸器
三井一賢	助教	血液・腫瘍	藤沢知雄	客員教授	消化器・肝臓病
高月晋一	助教	循環器, 肺高血圧, 川崎病	橋本卓史	客員講師	消化器, 肝疾患
			監物 靖	非常勤講師	膠原病, 川崎病
			根津敦夫	非常勤講師	神経, てんかん, 発達障害
			小田切邦雄	放射線読映	

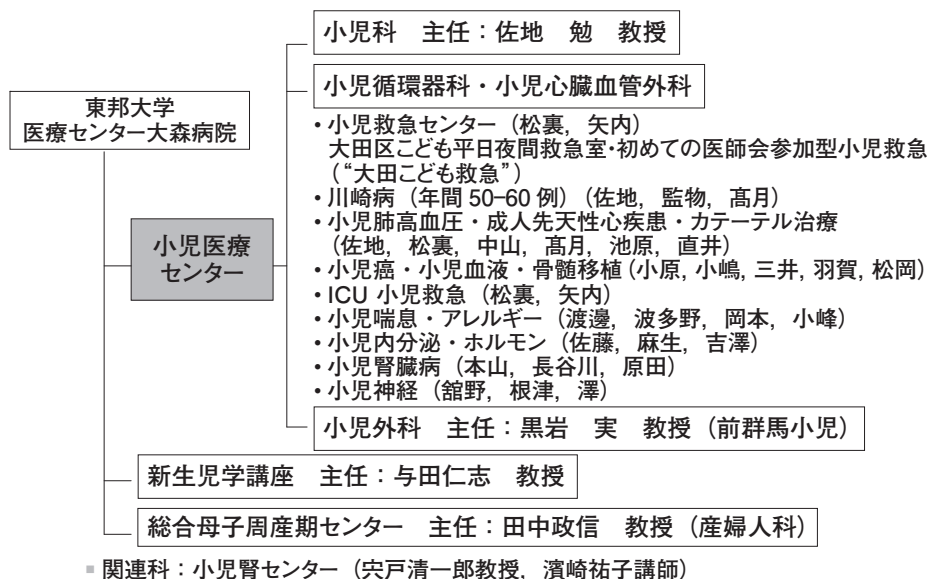


図1 東邦大学小児医療センターの組織図

ことを目指している。小児医療センターには、小児内科、小児心臓血管外科、小児循環器、小児外科が含まれ、特に新生児学講座（周産期センター）や腎臓学講座（小児腎センター）とは協力体制をとっている。外来には年間約 60000 人来院し、うち 12500 人は時間外救急症例である。専門外来は循環器（先天性心疾患，成人先天性疾患，肺高血圧症，川崎病，心筋疾患），血液腫瘍（白血病・リンパ腫，固形腫瘍），神経（痙攣性疾患，神経筋疾患，発達障害など），腎疾患（腎炎，ネフローゼ，腎不全，腎移植前後の管理），内分泌疾患（低身長，甲状腺疾患など），アレルギー（気管支喘息，食物アレルギー，アトピー性皮膚炎），消化器疾患（肝胆道疾患，炎症性腸疾患など），川崎病・膠原病，児童心理外来・小児保健など幅広い疾患に対応できるようエキスパートをそろえている。救急外来は一次～三次に対応できる 24 時間体制をとっており，症例数は全国大学病院でもトップクラスである。小児病棟は 59 床，年間新入院数は約 700～900 名である。看護体制は担当制で行い，おおむね看護師 56 名，child life specialist (CLS) 1 名，保母 1 名，クラーク 1 名，看護補助 4 名で対応している。骨髄移植・腎移植のための無菌室，intensive care unit (ICU) も備えている。

研究

循環器領域では肺高血圧症，川崎病の病因と治療，小児期心臓・肺移植に関する研究，血液・腫瘍領域では白血病，

造血障害，骨髄移植，輸血療法，アレルギー領域では気管支喘息の気道抵抗，食物アレルギー，内分泌領域では成長ホルモンの作用に関する研究などを行っている。その他，重症感染症，腎臓疾患，消化器病，小児臨床試験，小児救急医学に取り組んでいる。

地域連携への取り組み

一般外来部門は地域の実地医家，入院部門は本院で対応することをモットーとしている。専門外来は都内のみならず全国からの依頼も積極的に引き受けている。大田区から委託を受け，救急外来の 1 室を提供して「大田区こども平日夜間救急室」が平成 18 年 4 月に開設され，大田区三医師会（大森・蒲田・田園調布）の小児科を標榜する 54 名の先生方のご支援により平日 20～23 時まで小児一次救急の診療をご担当いただいている。多領域でのセカンドオピニオン外来も随時受け付けている。

地域連携行事として，小児科 Grand Round（症例検討会）を毎週水曜日 15 時から，東邦大学小児科教室研究会を年 1 回（6 月），小児科 Topics Meet the Experts を年 6～7 回，大田区小児科医会（症例検討会）を年 1 回（10 月頃），大田区こどもフォーラム（市民公開講座）を年 1 回（9 月），大田区小児喘息勉強会を年 2 回，城南アレルギー研究会を年 2 回開催している。

（教授：佐地 勉）